



この一般質問の映像は
こちらから

■ G I G Aスクール構想について



田村 浪行

質問

G I G Aスクール構想の
取組みは

町 校内研修で教師の指導力アップ

問 G I G Aスクール構想に於いて、教師がICTを効果的に活用し、指導力を高めていく取り組みは。

答 (教育長) 指導主事、またスーパーバイザーが各学校に向き、全ての教職員が校内研修の一つとして実践研修を行っている。

問

答 (学校教育課長) 文科省手引き「情報モラル指導カリキュラム」を参考に取組んでいる。

有害情報対策の教育は。

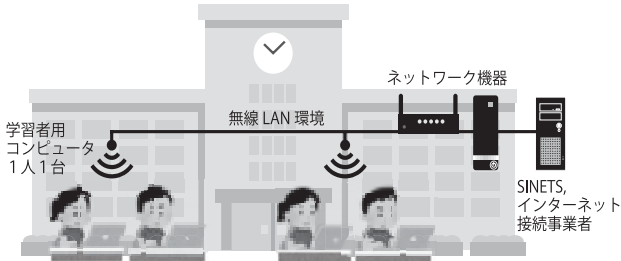
問 特別支援などを含む多様な子供たちを、誰一人取り残すことなく進める策は。

答 (教育長) AI搭載のオンライン学習ソフトを使い、個人の苦手や得意とすることでろを洗い出し、習熟度に合わせた問題演習を行っている。

問 様々な理由で自宅学習を選択することも有り得るが、学校の意義は。

※G I G Aスクール構想：義務教育を受ける児童生徒のために、1人1台の学習者用PCと高速ネットワーク環境などを整備する5年間の計画。

学校内すべての教室まで高速かつ大容量の通信ネットワークの整備を推進



出典：文部科学省初等中等教育局「令和2年度概算要求主要事項」より

問

答 (教育長) 学校は集団活動の貴重な場である。社会に出てから人間関係を学ぶ機会は少ない。そのため人間関係や社会を学ぶ大切な場である。

■ 循環型社会を構築するための取組について

質問

循環型社会で、
ごみ細分化は

町 近隣市町同様、考えはない

問 ごみ対策に関する家庭・地域社会の環境意識向上の取り組みは。

答 (町長) 町広報紙等で、食品ロス削減や分別排出の方法などを周知している。

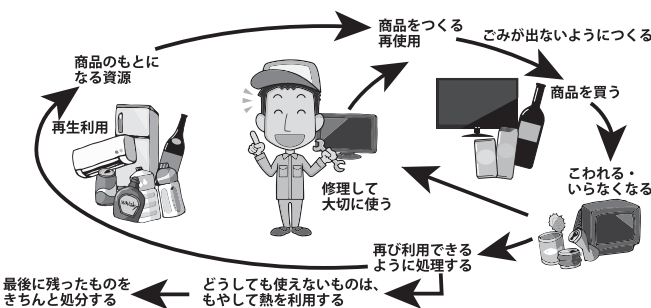
問 細分別化によるリサイクル率を高める取り組みは。

答 (環境課長) 可燃ごみ、不燃ごみ、資源ごみ、粗大ごみ等に大きく分別している。近隣の市町も同様の分別をしている。今のところ細分別は考えていない。

問 ごみの分別を楽に出来る施策は。

答 (環境課長) 昨年4月、分別表や五十音順で索引できるごみの分別辞典を配布している。今後スマホのアプリによる対応も検討している。

循環型社会の構想図 (例)



問 ごみの燃料化で再生可能エネルギーとしての活用は。

答 (環境課長) 広域クリーンセンター大田原で基幹的設備改良工事に合わせ、ごみを燃やす際の熱を利用した発電設備を導入している。また、固形燃料化については、施設の今後の検討課題と考える。